かけがわ 未来共創ビジョン 2035

Kakegawa Future Co-Creation Vision 2035

概要版

「だったらいいな」を声にしよう。

まちづくり。

それは、みんなの想いを紡ぎ、

みんなの幸せを描くこと。

「あったらいいな」「やってみたいな」

そう思ったら、言葉にしてみましょう。

新しい未来は、

いつも小さな一歩からはじまります。

どんな夢を叶えたい？
どんなまちにしたい？
あなたの声を聞かせてください。

住んでいる人、今は離れた場所にいる人、
働きにくる人、学びにくる人、みんなが掛川をつくる人。
そう。掛川は、いろんな人の夢や希望とともに、
より良い未来をひらくまちです。

このまちの魅力を
発見してみよう。
掛川だからこそ、
できることがあります。

茶畑をぬって歩く粟ヶ岳へのハイキング。

遠州灘と大砂丘、海の自然が広がる海岸線エリア。

美しいまちなみが続く城下町の風情。

生涯学習の学びをまちづくりに活かす、人の志とあたたかさ。

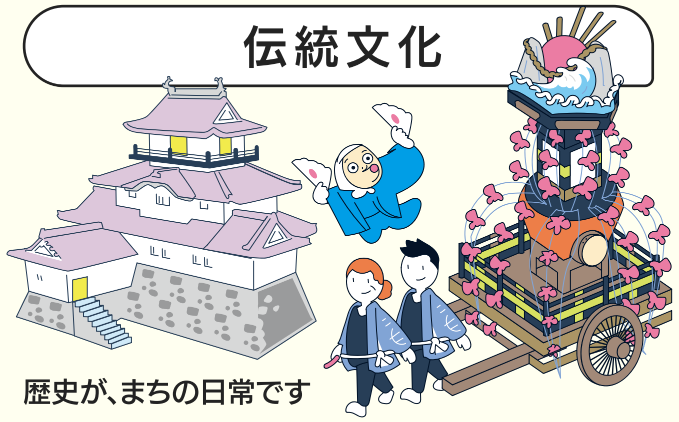
東京や名古屋・大阪からもアクセスしやすい便利さ。

じつは、これってすごい宝物。

ここにある豊かさは、

きっとあなたの「やりたい」を叶える力になります。

伝統文化



歴史が、まちの日常です

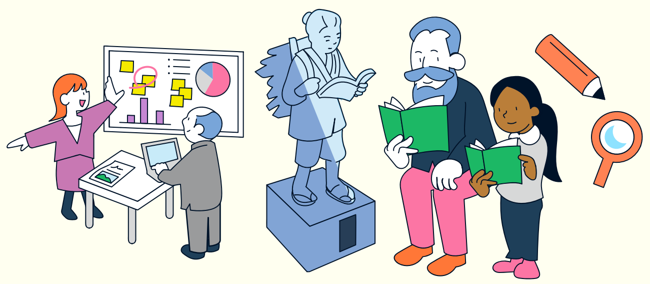
「掛川三城」や祭り、伝統工芸「葛布」など、歴史があちこちに。伝統文化を、現代の暮らしへと鮮やかに進化させる工夫も得意です。

自然（海山川）

ひとつのまちに海山川が

茶文字の粟ケ岳、潮騒橋もある海岸線、市内を流れる川。海山川が揃うのも掛川ならでは。この自然が、多彩な特産品はもちろん、人々の健康づくりも支えています。

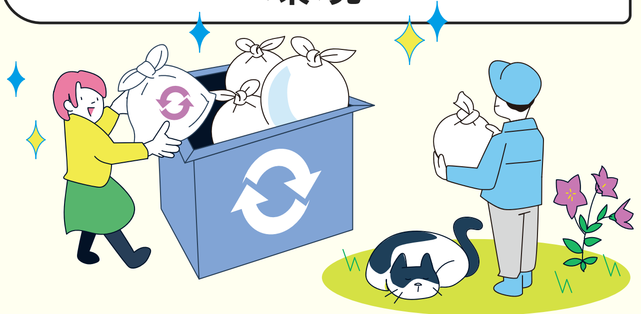
報徳の教えと生涯学習



自分のために、誰かのために、学ぶ

二宮尊徳の「報徳の教え」、全国初の生涯学習都市宣言。勤勉さを尊び、自らの学びを地域に活かす精神が、まちの中に自然と根付いています。

環境



意識の高さが、ごみを減らす

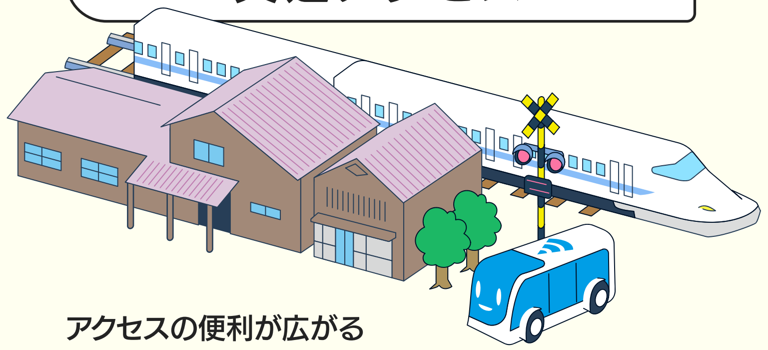
ごみの減量とリサイクルに注力し、人口10万人以上50万人未満の自治体で、トップクラスのごみの少なさを維持。市民の意識と丁寧な分別がもたらした結果です。

特産品

風土と人が育む、めぐみ

掛川茶やメロンなど高品質な農産物の宝庫。温暖な気候と高い技術が、豊かな食文化を支えています。「茶草場農法」は、世界農業遺産にも認定されています。

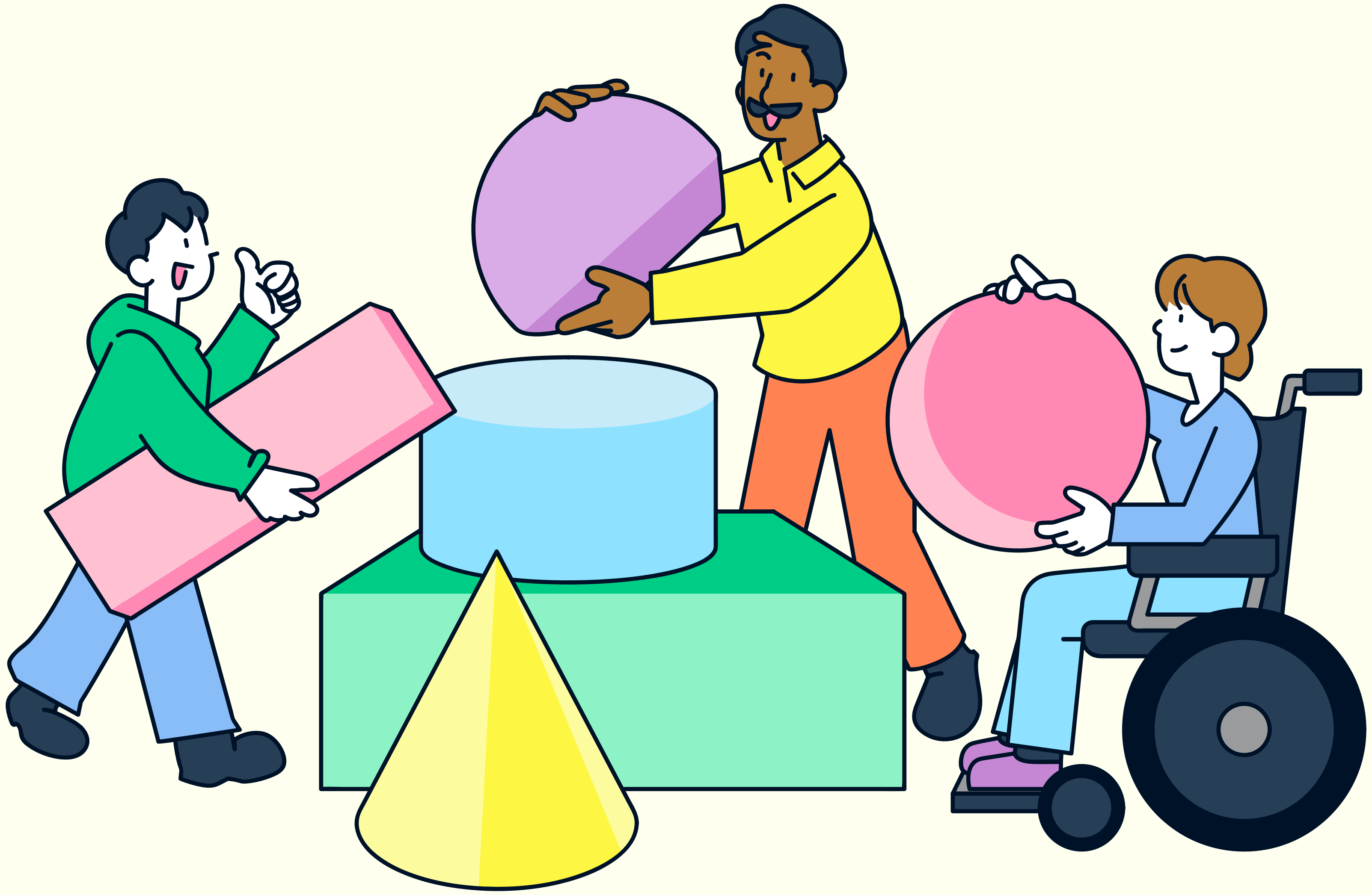
交通アクセス



アクセスの便利が広がる

掛川駅は、新幹線・東海道本線・天竜浜名湖鉄道が乗り入れる便利さ。高速道路のインターチェンジも利用可能です。また、AIオンデマンド交通の実証実験中です。

あなたの「想い」と、掛川の「魅力」をかけあわせてみませんか。



このまちにある、たくさんの宝物に、

あなたの「やってみたい」をかけあわせてみる。

そうすればきっと、あなたの想いが

リアルなかたちになるはず。

そして、あなたの夢が叶うたび、

このまちはもっと素敵になってゆくことでしょう。

一人ひとりの幸せが、まちの幸せになる。

さあ、みんなの手で。次の掛川をつくりましょう。

だれもが自分らしく暮らし 進化しつづける未来共創都市 かけがわ

Kakegawa: An Ever-Evolving City Co-Creating Our Future, Where You Can Be Yourself.

このめざす将来像には、年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、すべての人がお互いのちがいを認め合い、安心して自分らしく暮らせるまちを実現したいという想いが込められています。そのための土台として、DEI（多様性、公平性、受容・包摂）の理念を重視し、これまで進めてきた「協働のまち」から、ちがいを力に変え、新たな価値を共に創り出す「共創のまち」へと進化させ、変化の激しい時代の中で、まちと人が共に発展していくことをめざしています。

また、進化するテクノロジーの力を積極的に活用することで、社会の変革を促し、市民・企業・行政など多様な主体が手を取り合い、それぞれの強みを活かして、だれもがまちづくりの主体となる掛川市をめざします。

さらに、これからの掛川市は、既に前提条件となりつつある「サステナブル（持続可能）なまちづくり」を継承しつつ、地域や人が関わるほどにより良い状態へと発展していく「リジェネラティブ（再生・進化）なまちづくり」という新たなステージへと進みます。そして、まちと人が次世代の可能性を広げていく「未来共創都市」の実現をめざします。

総合計画では、「教育・ひとづくり」「健康・医療・介護」「安全・安心」「暮らし」「環境」「経済」「都市・交通」という7つの分野を基本に、だれもが自分らしく暮らせる未来の実現をめざしています。これらの分野は、それぞれが相互に関わり合いながら、掛川市の理想とする未来像の実現に向けて連携しています。

歴史や文化への誇りと愛着を育み、生きがいを持って学び続ける姿勢を大切にし、知識や経験を分かち合うことで、多くの幸せを実感できる社会をめざします。福祉やスポーツ、文化活動が日常生活に自然と溶け込み、安心と絆が生まれるまちを築くとともに、だれもが自発的に健康を育む習慣を根付かせ、テクノロジーが暮らしに寄り添うウェルネスな環境を実現します。さらに、資源循環や自然との共生を推進し、進化しつづけるまちづくりを進めます。

安心して暮らせるインフラや防災体制が支える都市基盤を整備し、快適な住環境と商工業が調和する、活力と可能性に満ちたまちを創造します。また、多様な働き方や革新的なビジネスモデルを育む経済を推進し、才能と挑戦が交差する未来を築きます。

これら7つの分野が有機的に連携することで、多様性の融合による新たなイノベーションが生まれます。そして、「報徳の精神」と「生涯学習」によって培われた高い市民力を礎に、次世代に誇れる「未来共創都市」の実現をめざします。

さあ、
何をかけあわす？
掛川市

海と山。茶畑と田んぼ。

城下町と宿場町。

穏やかな日常と、祭りの熱気。

いくつもの「かけあわせ」が、

このまちの豊かさをつくってきた掛川で。

私たちは 新しい「かける」に、挑もうと思う。

伝統に、新しい技術を。

常識に、多様な価値観を。

そして、このまちに、あなたを。

その先に、何が生まれるのだろう。

答えは無限大。

無数の可能性が、

期待を超える未来をつれてくる。

未来をひらく、私たちの基本理念

掛川市は、「報徳の精神」と「生涯学習」によって培われた、市民が自ら学び、役立ちあいながら主体的にまちづくりに参画する「協働によるまちづくり」を進めてきました。人口減少社会を迎えている中、暮らし方や価値観が多様になり、デジタル技術は日々進化しています。掛川市は今、そんな大きな「時代の転換点」を迎えています。私たちは、この時代の変化を、未来をひらく「可能性」に変えていきます。私たちがめざすまちの将来像の実現に向けて、掛川市民が持つ高い市民力を礎に、これからのまちづくりを進めるための大切な考え方として、3つの基本理念をここに掲げます。

3つの基本理念

DEI (Diversity, Equity, Inclusion)

ちがいを、チカラに。

多様性をチカラに変え、自分らしく暮らせる豊かな社会を築きます。

「DEI」とは、多様性（Diversity）を尊重し、公平（Equity）な機会を保障し、すべての人をあたたかく受け入れ合う受容と包摂（Inclusion）の社会を築く理念です。私たちは、市民一人ひとりが自分らしく暮らせる社会をめざし、この「DEI」をあらゆるまちづくりの基盤とします。

DX (Digital Transformation)

テクノロジーを、味方に。

テクノロジーを活かして、暮らしをより良く変えていきます。

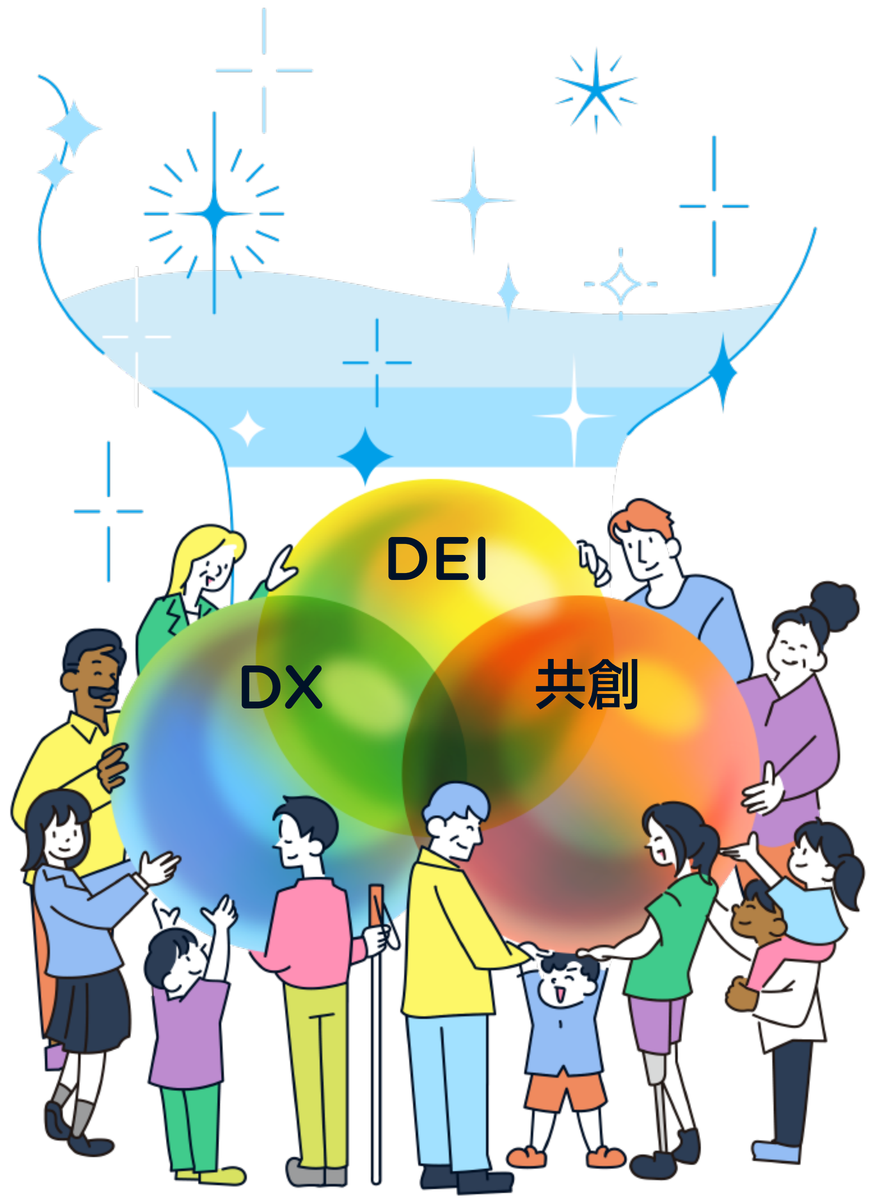
「DX」とは、デジタル技術とデータを最大限に活用し、私たちの暮らしや社会をより良く進化させていく取り組みです。私たちは、市民一人ひとりが持つ「こうありたい」という願いや多様な幸せを実現するための「チカラ」として、テクノロジーを活用します。だれもがデジタル技術を日常的に使いこなせる環境を整え、人々の想いや共創によって生まれた新たな価値を、未来をひらく確かな推進力へと変えていきます。

共創 (Co-Creation)

新たな価値を、共に。

チカラを結集して手を取り合い、新たな価値を共に創り続けるまちをめざします。

「共創」とは、市民、企業、地域、行政など、あらゆる主体がそれぞれ持つ知恵や力を結集し、連携しながら課題解決にくわえて「新たな価値を生み出すこと」です。私たちは、これまで進めてきた「協働によるまちづくり」をさらに進化させ、「共創によるまちづくり」を力強く推進し、世代や文化を超えた関わり合いを通じて、だれもが心ゆたかに暮らせる未来を築きます。



3つの理念が織りなす、未来への原動力

まちづくりの基盤となるのは、互いを認め合い、だれもが自分らしくいられる「DEI」という確かな土台です。この安心できる土台のもとで、すべての人が強みを活かしながら垣根を越えて手を取り合う「共創」が生まれ、未来へ向かって新たな価値が広がっていきます。さらに、デジタル技術を活用した「DX」が、この共創の輪を時間や場所の制約から解き放ち、変革のスピードを加速させます。これら3つの理念を掛け合わせることで、掛川市の未来を力強く切りひらいていきます。

ウェルビーイング指標

心身共にゆたかに暮らせるまちへ。

掛川市は、人口減少や少子高齢化といった課題に対し、デジタル技術を活用した利便性や効率性を追求するだけでなく、市民一人ひとりが社会の一員として「心ゆたかな暮らし」を実現することをめざします。従来の行政サービスでは見えにくかった、この「心のゆたかさ」を政策の中心に据えるため、本計画から新たに「地域幸福度（Well-Being）指標」を取り入れます。

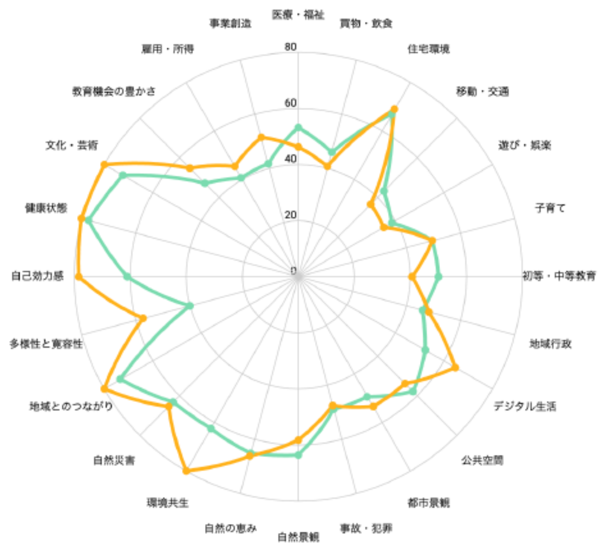
ウェルビーイング指標とは

この指標は、国の取り組みの1つとして開発・導入されました。「心ゆたかな暮らし」（Well-Being）と「持続可能な環境・社会・経済」（Sustainability）の実現をめざし、デジタル庁が推奨するアンケート（51問）による「主観データ（例：安心感、地域のつながり、自分らしい生き方など）」と、統計による「客観データ（例：人口、所得、公共サービスなど）」の両面から市民の「暮らしやすさ」や「幸福度」を多角的に数値化・可視化するものです。

計画での活用と主な指標

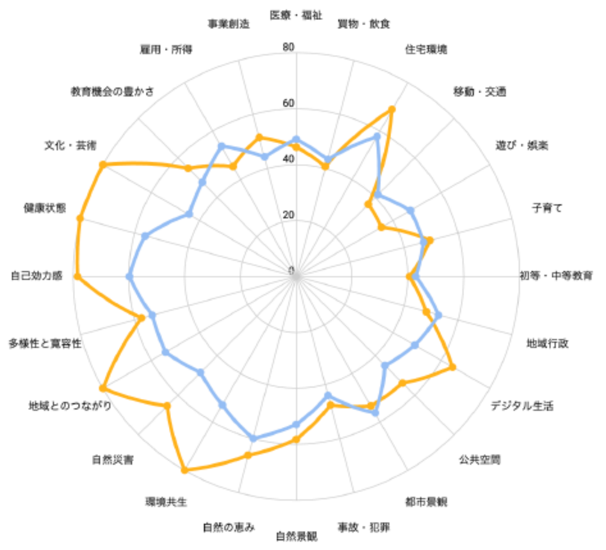
私たちは、客観データ（統計）だけでは分からなかった市民の「真のニーズ」や「幸福実感」を主観データ（アンケート）から把握し、政策へ反映させていきます。主観と客観のデータを組み合わせることで、掛川市ならではの「強み」や「課題」をデータに基づいて判断し、市民の幸福度を高めるために掛川市がどこに注力していくべきかを明確にします。その上で、本計画全体の成果を測る重要な指標（KPI）として、「現在のしあわせ度」（「現在、あなたはどの程度幸せですか」などの問い）を設定し、市民の幸福実感の向上をめざします。

静岡県全域と掛川市の主観指標の比較



●静岡県全域　●掛川市

掛川市の主観指標と客観指標の比較

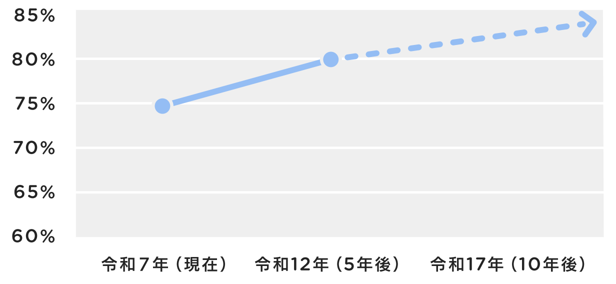


●主観データ偏差値　●客観データ偏差値

*各個別調査のスコアから作成　*静岡県全域は令和6年データ

現在の幸せ

「現在、あなたはどの程度幸せですか?」への回答が6点以上の割合



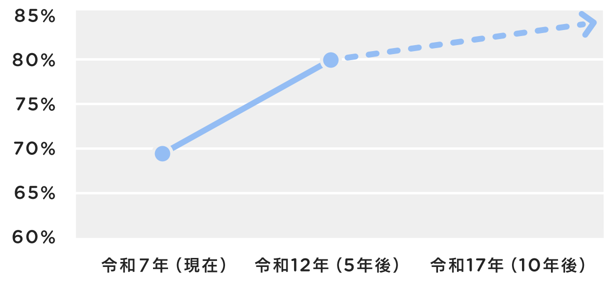
現在の幸福度について、6点以上の回答は全体の74.8%、平均点は7.0点*でした。

令和12年にはこの割合を80%、令和17年では80%以上を維持しながら平均8点以上にすることを目標とし、まちの幸福感のさらなる向上をめざします。

	静岡県全域	掛川市
6点以上の割合	71.3%	74.8%
平均点	6.7	7.0

5年後の幸せ

「今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか?」への回答が6点以上の割合



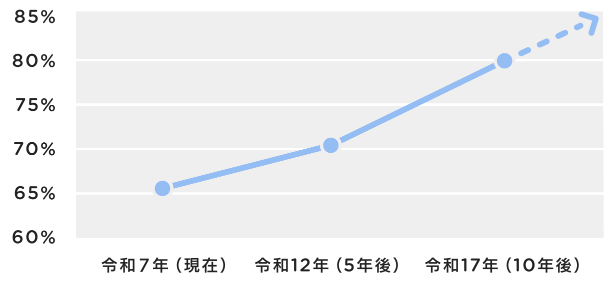
5年後の自身の幸せについて、6点以上の回答は全体の69.7%、平均点は6.7点*でした。

令和12年にはこの割合を80%、令和17年でも80%以上を維持しながら平均8点以上をめざし、将来への不安を払拭して前向きな意識の醸成を図ります。

	静岡県全域	掛川市
6点以上の割合	63.8%	69.7%
平均点	6.4	6.7

住んでいる地域の幸せ

「現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか?」への回答が6点以上の割合



地域の暮らしへの満足度について、6点以上の回答は全体の65.5%、平均点は6.4点*でした。

令和12年にはこの割合を70.2%、令和17年では80%以上をめざすとともに平均8点以上を目標に、住み続けたいと思えるまちづくりを推進します。

	静岡県全域	掛川市
6点以上の割合	65.1%	65.5%
平均点	6.4	6.4

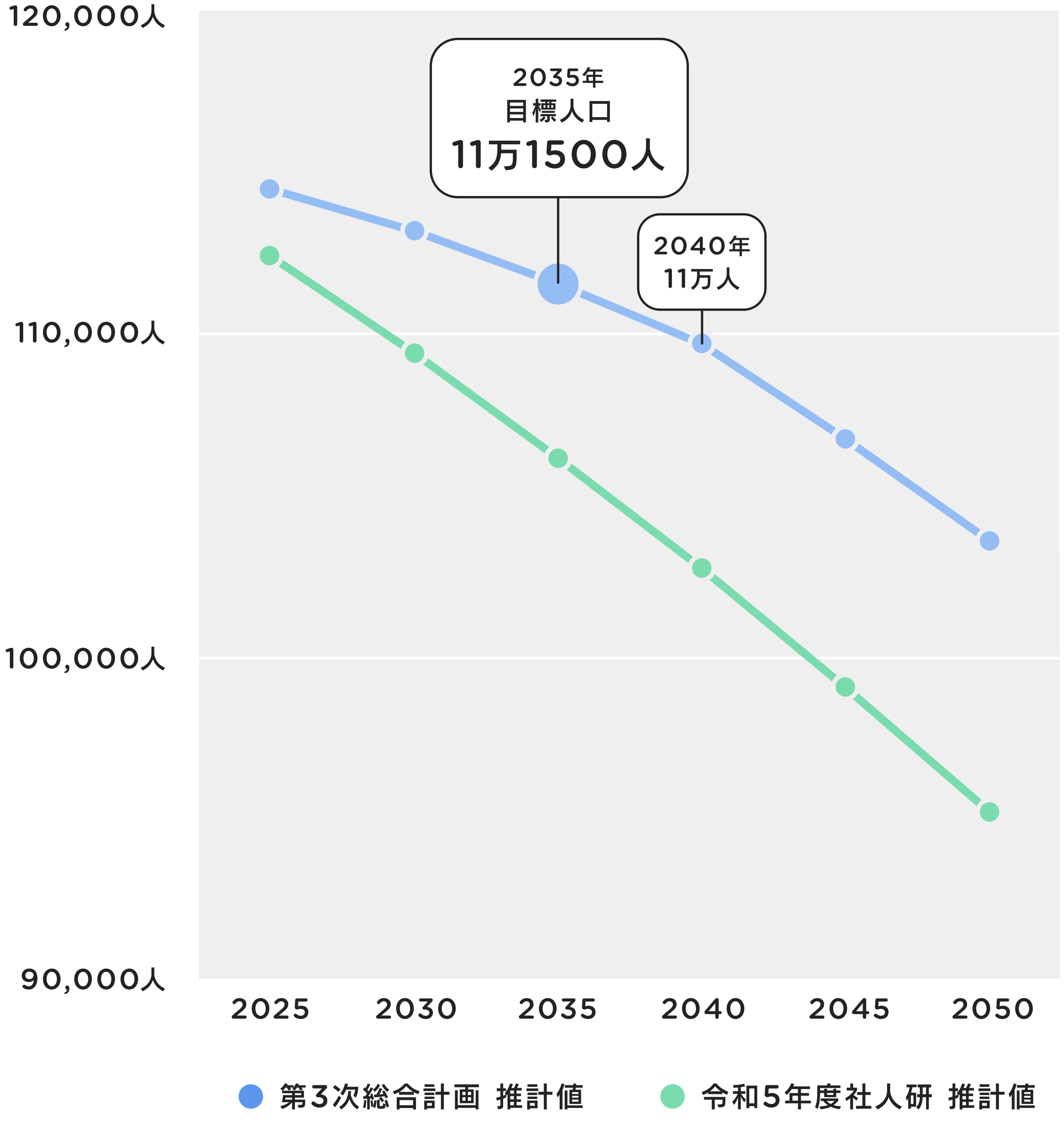
*令和7年度調査。10点満点中の点数を示す。

出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「地域幸福度（Well-Being）指標」

将来人口

2040年に人口11万人を維持するために、

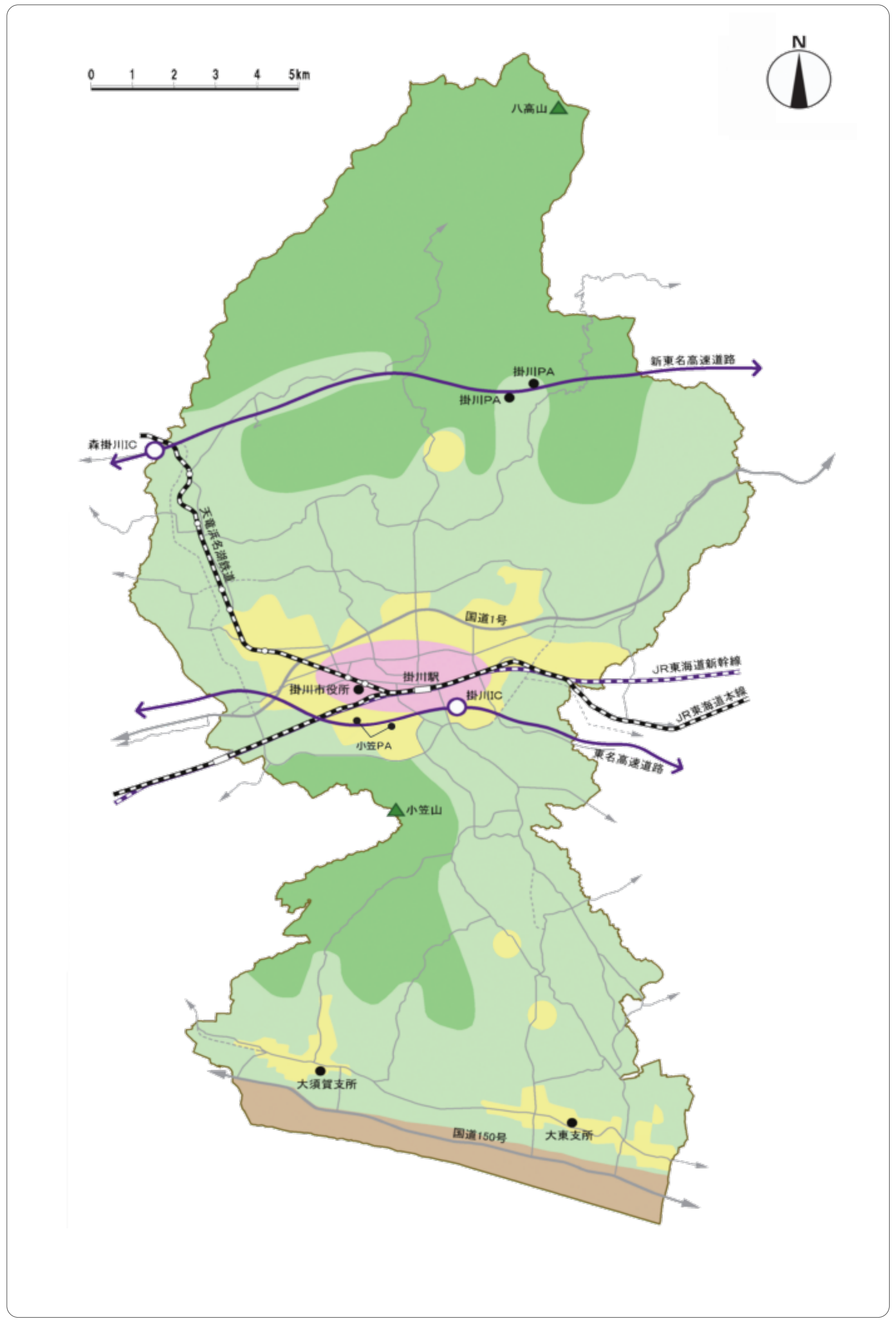
2035年の目標人口を 11万1500人とします。



土地利用構想

掛川のまちのかたち

人口減少や社会情勢の変化、自然災害への対策がより一層求められる未来において、掛川市の豊かな自然環境や整備された都市基盤を維持・形成するための土地利用を進めていきます。



自然水源ゾーン

市北部の山間部や小笠山一帯です。
豊かな森林や水源を守り育てるとともに、自然とふれあう教育の場としても活用します。

田園里山ゾーン

市街地の周りに広がる農地一帯です。
茶畑や田んぼが広がる、ふるさとらしい景観を保全し、農業をはじめとする各種産業に活用します。

田園里浜ゾーン

遠州灘に面した海岸周辺のエリアです。
津波や高潮などへの防災・減災機能を強化するとともに、砂地農業や海岸の自然環境を守ります。

市街地ゾーン

掛川、大東、大須賀区域の市街地などです。
暮らしに必要な都市機能や、良好な住環境を確保し、市民が快適に生活できる市街地を形成します。

中心市街地ゾーン

掛川駅を中心とする市街地です。
医療・福祉・商業・行政などの都市機能をさらに集め、賑わいと交流のある、掛川市の中心となるエリアを形成します。

掛川の未来を創る7つの都市像

掛川市は、7つの都市像を軸に、心ゆたかに暮らせる未来を築き、次世代に誇れるまちをめざします。

だれもが自分らしく暮らし
進化しつづける未来共創都市
かけがわ

1 教育・ひとづくり
Education & Lifelong Learning

生涯を通して学ぶことでまちの歴史や文化に誇りと愛着を持ち、郷土愛を育むひとづくり。一人ひとりの学びを通して培われた知識や経験を活かし、得意なところ、大事だと思うところでまちづくりに参加する。ひとづくりとまちづくりが一体的に進み、多くの学びと幸せを実感できるまち。

2 健康・医療・介護
Health & Wellness

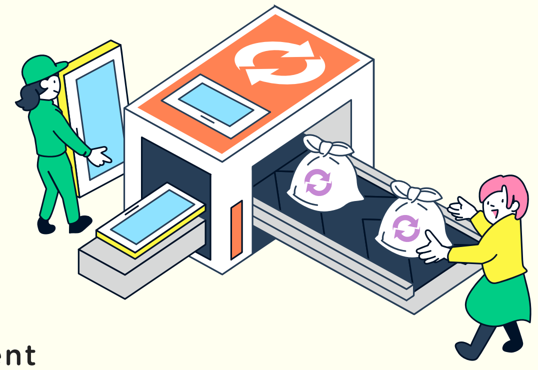
いつでも健やかな毎日が過ごせるよう、私たち自らが積極的に健康を育むまち。運動や栄養習慣が日常に根付き、進化した先進技術が心身の健康を後押しする、ウェルネスが広がるまち。

3 安全・安心
Safe & Peace of Mind

災害や犯罪から人々を守る仕組みが整備され、交通の安全性が確保されたまち。防災・防犯体制が日常を見守ることで安心感に包まれ、だれもが穏やかで健やかな暮らしを送るまち。

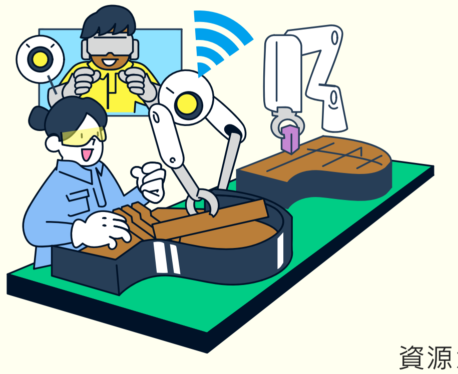
4 暮らし
Life

だれもが自分らしく暮らせるまち。福祉やスポーツ、文化活動が日常に溶け込み、やりたいことや、居場所がある。「それいいね!」と互いに思い合い、暮らしの中で手を取り合う人の姿が未来への希望を育み、絆が生まれるまち。



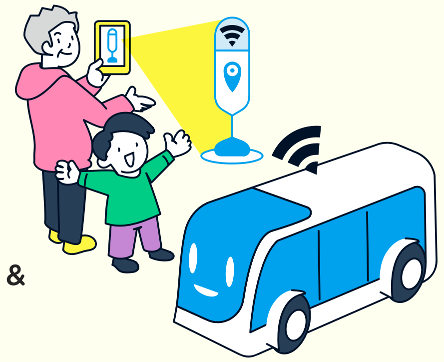
5 環境
Environment

資源が循環し廃棄物ゼロを実現したまち。自然と共生するデザインがまちに広がり、再生可能エネルギーがまちを動かす。環境を守る意識を一人ひとりが持ち、地球を愛し未来を紡ぐまち。



6 経済
Economy

多様な働き方があり、新たなチャンスが未来を彩るまち。グローバルなつながりが広がり、革新的なビジネスモデルや観光資源が新たな価値を創造する。才能と挑戦が交わり、夢が経済を動かすまち。



7 都市・交通
Urban Development & Transportation

暮らしを支えるインフラが整うまち。快適な暮らしを実現する住居や自由な移動手段が広がり、活力ある商工業がまちを囲む。自然と調和したレジャー空間が私たちを癒し、「働く」「暮らす」「楽しむ」が調和した、心躍る活力と新たな可能性に満ちたまち。

基本計画の考え方

3つの理念を土台に、7つの都市像で未来を創る。

掛川市がめざす将来像は、
「だれもが自分らしく暮らし　進化しつづける未来共創都市　かけがわ」です。

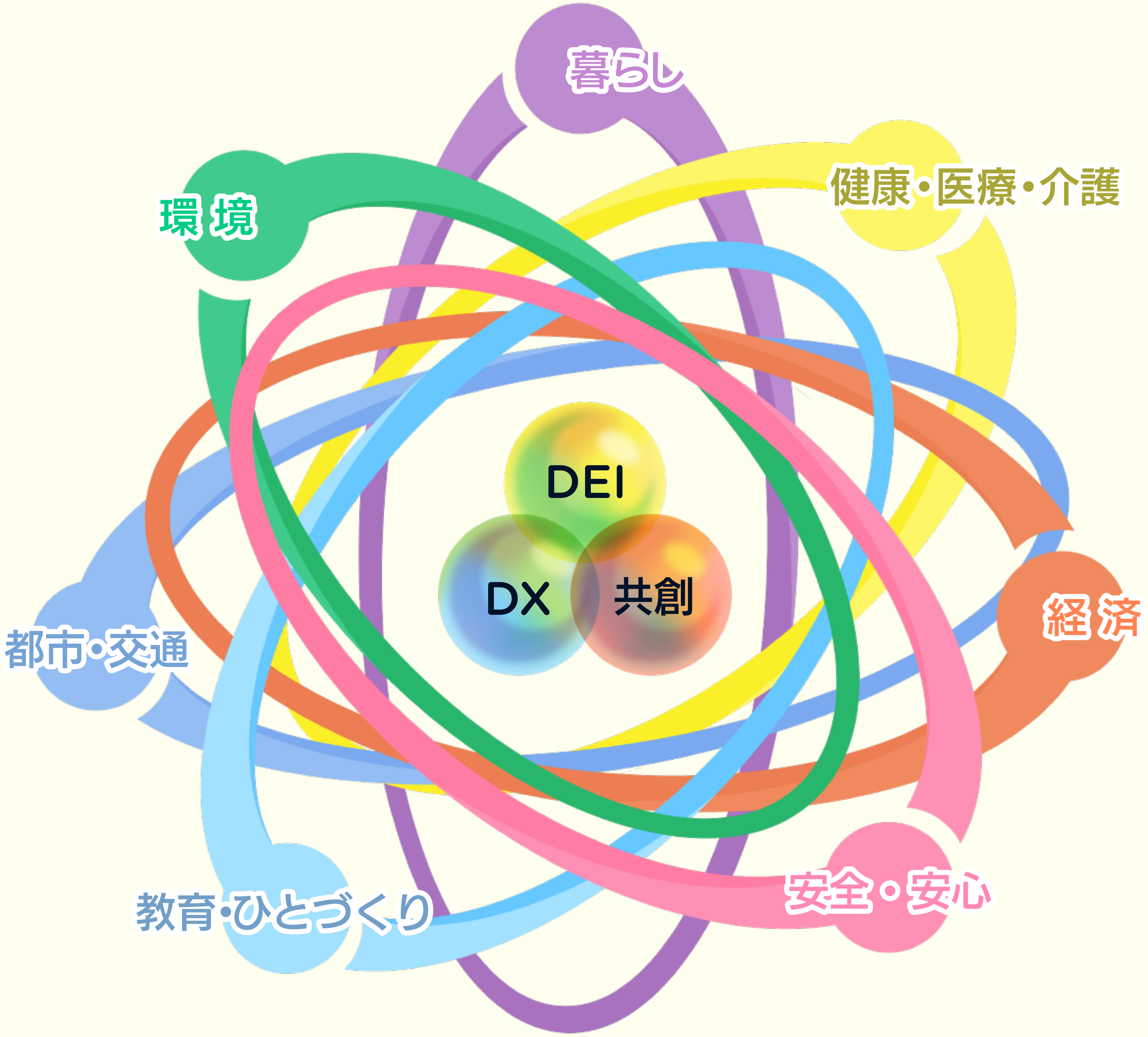
この実現に向け、「掛川の未来を創る7つの都市像」に基づき、
分野を超えたまちづくりを推進します。

これらすべての取り組みの土台となるのが、
このまちに脈々と受け継がれてきた報徳の精神と生涯学習、
そして時代の転換点を乗り越えるための3つの基本理念です。

ちがいをチカラに変え、多様な人々が活躍する土台をつくる。
テクノロジーを味方につけ、一人ひとりの暮らしに寄り添い支える。
そして、市民・企業・行政などの様々な主体が知恵と力を結集し、
新たな価値を、共に創りだす。

本計画では、これらを「DEI」「DX」「共創」の視点として位置づけ、
基本計画となる7つの都市像すべてにおいて、その関連性を明確に示しました。

大切に守り継いできた心と、未来をひらく新しい3つの理念。
これらが7つの都市像を力強く支えることで、
掛川市は次世代に誇れる未来へと歩みを進めます。



1

教育・ひとづくり

Education & Lifelong Learning

生涯を通して学ぶことでまちの歴史や文化に
誇りと愛着を持ち、郷土愛を育むひとづくり。
一人ひとりの学びを通して培われた知識や経験を活かし、
得意なところ、大事だと思うところでまちづくりに参加する。
ひとづくりとまちづくりが一体的に進み、
多くの学びと幸せを実感できるまち。

この分野で注力していきたいこと

1-1
市民総ぐるみで
こどもの可能性を広げ
未来へつながる
ひとづくり

1-2
読んで学んで
つながる知恵
掛川情報拠点づくり

1-3
子育てを楽しみ
親子が笑顔で過ごせる
まち

1-4
生涯学習で創る
未来共創の
まちづくり

2

健康・医療・介護

Health & Wellness

いつでも健やかな毎日が過ごせるよう、
私たち自らが積極的に健康を育むまち。
運動や栄養習慣が日常に根付き、
進化した先進技術が心身の健康を後押しする、
ウェルネスが広がるまち。

この分野で注力していきたいこと

2-1

健幸がつながる、
未来が広がる

2-2

いつでも安心
つながる医療の
ネットワーク

2-3

ずっと元気、
ずっと笑顔で
生涯活躍

3

安全・安心

Safe & Peace of mind

災害や犯罪から人々を守る仕組みが整備され、
交通の安全性が確保されたまち。
防災・防犯体制が日常を見守ることで安心感に包まれ、
だれもが穏やかで健やかな暮らしを送るまち。

この分野で注力していきたいこと

3-1
みんなで守る
災害に強い
掛川づくり

3-2
消防救急体制の充実へ
より迅速かつ的確に

3-3
事故ゼロ・犯罪ゼロ！
みんなでつくる
安全な日常

3-4
災害に強く、
安心して暮らせる
まちづくり

3-5
障がいの
有無にかかわらず、
だれもが活躍するまち

3-6
つながるチカラで
未来を創る
共創のまちづくり

3-7
地域の景観を
活かした
中山間のまちづくり

4

暮らし

Life

だれもが自分らしく暮らせるまち。
福祉やスポーツ、文化活動が日常に溶け込み、
やりたいことや、居場所がある。
「それいいね!」と互いに思い合い、
暮らしの中で手を取り合う人の姿が未来への希望を育み、
絆が生まれるまち。

この分野で注力していきたいこと

4-1
妊娠から子育てまで
切れ目のない
安心サポート

4-2
郷土愛と
創造性を育む
文化のまち

4-3
だれもが
スポーツを
楽しむまち

4-4
掛川に住む
掛川とつながる

4-5
安全で快適な
住環境の実現

4-6
ちがいを超えて
多様性を活かす
多文化共創のまち

4-7
多様性に富み
だれもが
個性と能力を
発揮できるまち

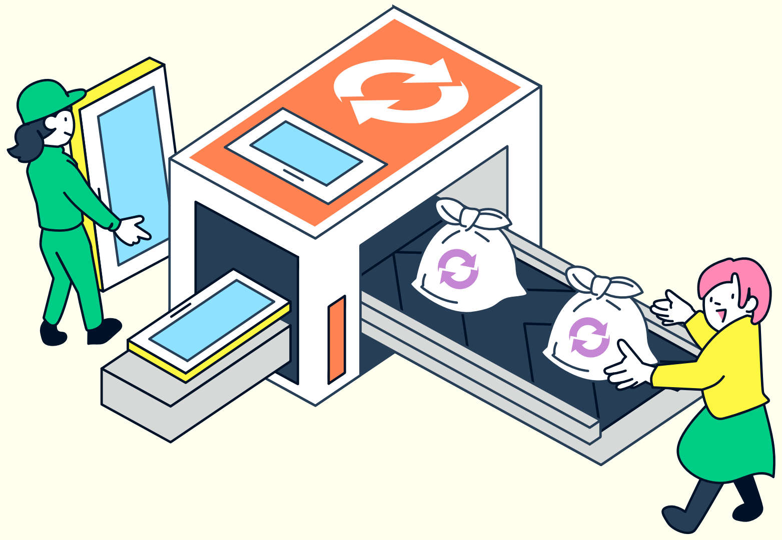
4-8
時代に合わせて
変化しつづける
行政経営システム

5

環 境

Environment

資源が循環し廃棄物ゼロを実現したまち。
自然と共生するデザインがまちに広がり、
再生可能エネルギーがまちを動かす。
環境を守る意識を一人ひとりが持ち、
地球を愛し未来を紡ぐまち。



この分野で注力していきたいこと

5-1
脱炭素で
気候変動に
適応するまち

5-2
安心で快適な
生活環境の実現

5-3
みんなが集まる
緑あふれる
公園づくり

5-4
まちを潤す
水の循環と
再生

6

経済

Economy

多様な働き方があり、新たなチャンスが未来を彩るまち。
グローバルなつながりが広がり、
革新的なビジネスモデルや観光資源が新たな価値を創造する。
才能と挑戦が交わり、夢が経済を動かすまち。

この分野で注力していきたいこと

6-1
自分らしく働き、みんなが輝く地域経済

6-2
農と林が進化を遂げる掛川の強い農林業

6-3
未来へつなぐ掛川茶の新しい物語

6-4
歴史と文化と自然が織りなす掛川観光体験

6-5
人々が集い賑わう「まちなか」へ

7

都市・交通

Urban Development & Transportation

暮らしを支えるインフラが整うまち。
快適な暮らしを実現する住居や自由な移動手段が広がり、
活力ある商工業がまちを囲む。
自然と調和したレジャー空間が私たちを癒し、
「働く」「暮らす」「楽しむ」が調和した、
心躍る活力と新たな可能性に満ちたまち。

この分野で注力していきたいこと

7-1
コンパクトで
スマートな掛川の
新たな都市づくり

7-2
進化する移動、
広がる交流
掛川型モビリティの
未来

7-3
活発な交流を
支える
幹線道路の整備

7-4
歩行者も車も
安全に通行できる
生活道路の整備

7-5
安全確保と
長寿命化に向けた
道路施設の
維持管理

7-6
安全な水を
すべての人へ
未来へつなげる
掛川の水道